

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

美しい胸ビレを広げて泳ぐ、トビウオの赤ちゃんを展示開始しました 6月30日(日)までの期間限定です



大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、館内1階「わぎにふれる」ゾーンにて、トビウオの赤ちゃん(全長約2~3cm、10匹程度)を、2024年6月20日(木)から6月30日(日)までの期間限定で展示開始しました。蝶や飛行機のようにも見える不思議な姿を、横からも上からもご覧いただけます。

トビウオは、胸ビレを翼のように大きく広げ、水面上をまるでグライダーのように飛ぶことで知られ、初夏から秋にかけて日本の沿岸にやってきます。トビウオの赤ちゃんは、沖合で流れ藻などに隠れて暮らしていますが、海が荒れた後に岸壁近くに流れ着いて水面を泳ぐ様子が見られます。そのため、採集できる季節や条件が限られており、また体が傷つきやすく神経質なことから、長期間の飼育展示が難しい魚で、その姿を見る機会は多くありません。



ニフレルでのトビウオの赤ちゃん展示は今回で6回目となります。室戸岬の漁師さんにご協力をいただき、キュレーターが漁に同行して採集した赤ちゃんです。展示を通して、生きものや自然環境に興味を持っていただく機会に繋がっていきたいと考えています。

【本件に関する問い合わせ先】

NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 西前、渋谷

TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp



【トビウオの赤ちゃんの展示について】

《展示期間》2024年6月20日(木)～6月30日(日)

《展示場所》1階「わざにふれる」ゾーン

《展示数》10匹程度

《採集の様子をインスタライブで紹介します》6月24日(月)12:30～

室戸岬でトビウオの赤ちゃんを採集したキュレーターが、美しい胸びれを動かして泳ぐ赤ちゃんを、漁に出た時の様子を撮影した画像や映像とともにご紹介します。

《お問い合わせ》ニフレルインフォメーション TEL:0570-022060(ナビダイヤル)

※生きものの状況により予告なく展示を変更または中止をする場合があります。

【室戸岬での漁について】

今回、長年海遊館の深海生物の情報収集先の1つである高知県室戸市の漁師さんのご協力でキュレーターが漁に同行し、大海を泳ぐトビウオの赤ちゃんの様子を実際に確認して、採集することができました。

《生きているミュージアム「NIFREL」施設概要》

【名称】NIFREL(ニフレル)(館長:小畑 洋)

【運営会社】株式会社海遊館(大阪市港区、社長:村井 弘幸)

【所在地】吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内

【営業時間】平日 10:00～18:00

土・日・祝 9:30～19:00

※いずれも最終入館は閉館の1時間前

※状況により変更する場合があります。

【休館日】年中無休。 ※年に1回設備点検のための臨時休館あり

【施設内容】展示ゾーン(いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、ワンダーモーメンツ、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる 合計8

ゾーン)、ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)

ミュージアムショップ(NIFREL×NIFREL)

【交通】大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分

【駐車場】約4,100台(EXPOCITY 全体用駐車場)

